

## 潤いと輝きで笑顔あふれる学校をめざし、R6四中がスタート!

4月9日(火)に入学式を挙行し、多くの保護者と来賓の方々のご臨席のもと、無事に127名の新入生を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。これで、全校生徒359名と全職員40名が揃い、令和6年度八代市立第四中学校が正式にスタートしました。

始業式や入学式で、校訓と学校教育目標についてお話しました概要についてお伝えします。

### 《校訓》「優しく 正しく 逞しく」

「優しく思いやりのある生徒」「正しく真理を探究する生徒」「逞しく心身を鍛える生徒」になって欲しいという願いが込められており、四中の卒業生の誰もが大切にしてきた精神・心です。



新入生が安心して生活できるように言葉をかけてくれた緒方葉琉生徒会長

### 【学校教育目標】「夢と志をもち、実現に向かって自ら努力し続ける生徒の育成」

〈スローガン〉 ～潤いと輝きで笑顔あふれる学校づくりをとおして～

これまでの先輩方のように、各自の夢に向かって努力し、実現させてほしい。ただ、忘れないでほしいのは、自分の夢を実現するには自分一人の力だけではできないということです。共に学び、喜びや苦勞を分かち合う仲間やそれを支える地域や保護者、先生方が必要です。

校訓の姿に近づき、安心して夢を実現させるため、「お互いのよさや成長を共に認め合い喜びを分かち合うことを心がける」ことを意識して生活してください。中学校三年間は心も体も大きく成長し、その幅やスピードは人それぞれです。心が成長することで、それまで気づかなかった仲間のよさや特長に気づくようになります。一方で、自我に目覚めて自分を客観的に視る力がつき、他の仲間と意味のない比較をして落ち込むことも多くなります。そこで、仲間の悲しさや悔しさを自分のことのように感じて寄り添う感性を一人一人がもち、互いのよさや成長に気づき、認め、褒め、励まし合うことを通して、よりよい信頼関係を築くことができます。これが「潤い」のある学校生活につながっていきます。

この「潤い」が生まれると、一人一人が四中に自分の居場所をもつことができ、安心して個性や能力を発揮できるようになります。こうして一人一人の出番と活躍の場が広がることで、自己肯定感や自己有用感が高まり、学校に輝く笑顔があふれるようになります。

この「輝き」が増すことで、互いに認め、支え合いながら、安心して夢に向かうことができます。そして、一人一人が「四中生でよかった。」「四中でみんなと学べてよかった」と感じ、地域や保護者の方々、先生方から笑顔で次の進路に送り出してもらえます。

「潤いと輝きで笑顔あふれる学校」となり、子供たちが安心して夢に向かって努力できるよう、全職員40名でお手伝いしていきますので、昨年度に引き続き、今年度も保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。